



**● 地域活性化特別枠**

**草の根技術協力（地域活性化特別枠）事業概要**

<b>I. 提案事業の概要</b>	
1. 国名	ベトナム社会主義共和国
2. 事業名	ベトナム南部における科学的根拠に基づく患者中心の保健医療サービス向上：大学と医師会の連携イニシアチブ Promoting Evidence-Based Patients-Centered Health Services In Southern Vietnam : University & Medical Association Partnership Initiative
3. 事業の背景と必要性	ベトナムにおける従来の医療サービスの目標は、治癒率や生存率の向上であったが、近年、患者の生活の質や患者中心の医療への関心が高まっている。ホーチミン市医科薬科大学と福島県立医科大学は、2004年から医師向けに、臨床データの分析を教える疫学研修を実施し、医師会や厚生省との連携の下、対象者を大学教員から、ホーチミン市、そして南部全域の医師と拡大してきた。本事業では10年以上継続してきた事業を土台に、新たな課題に対応すべく、患者の声を聞き、心理、社会環境含むより幅広い視点を入れて、より包括的な保健医療サービスを実現する技術を移転するとともに、指導者指導を強化することで、現地関係機関が自主的に人材育成を展開して行く転換をもたらすイニシアチブである。
4. プロジェクト目標	研修生が以下の技術と知識を習得する；1) 国際的にスタンダードな保健医療サービスを提供する知識を入手できる、2) 患者の包括的アセスメントができる。
5. 対象地域	ベトナム南部
6. 受益者層 (人数規模)	直接受益者：ベトナム南部医師（約200人） 間接受益者：医師が所属する医療機関管轄地域の住民（人口約32000千人）
7. 活動及び期待されるアウトプット	<アウトプット> 1. 現地指導者が研修を計画・運営する技術（シラバス・教材作成）が向上する。 2. 現地研修運営・指導者の指導技術（量的・質的分析、社会疫学）が向上する。 3. 研修参加者が学んだ知識・技術を活用する力と自信をもつことができる。 4. 両国の学生・若手臨床研究者が交流を通じて国際協力の理解が深まる。 5. 事業成果と科学的根拠の重要性に関する広報・情報伝達が推進される。 6. 研修成果（患者の声をサービス向上に反映できる実習）に関する科学的根拠が提示できる。 <主な活動> 1～4. 現地研修（2回） 2,4. 国内指導者研修（1回） 2,3,6. オンライン指導 5. 広報活動
8. 実施期間	2017年3月～2020年2月（2年11ヵ月）
9. 事業費概算額	概算額17,178千円
10. 事業の実施体制	・実施団体：福島県国際課、福島県立医科大学（担当：総合科学教育研究センター） ・カウンターパート：ホーチミン市医科薬科大学、ホーチミン市医師会 ・協力機関：日本（鹿児島大学、順天堂大学等）、ベトナム：ハノイ公衆衛生大学院、米国：ジョーンズホプキンズ大学 ・後援：ホーチミン市保健局、日本疫学会、ベトナム保健省（教本推薦）
<b>II. 応募団体の概要</b>	
1. 団体名 (提案自治体)	福島県
2. 対象国との関係、協力実績	平成16年以降、疫学研修を現地大学認定研修として4回、JICA草の根技術協力事業を通じてホーチミン市医師生涯教育の認定研修として5回実施し、延べ596人が修了。